

お忙しくても、約 2 分間で読めます

山内公認会計士事務所

ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895

FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

人から人へ、世代を超えてTPSが伝えられている (トヨタ)

1. 「見てもないことをいいかげんに言うんじゃない、とよく怒られましたよ」。豊田章男社長は生産現場で働いていた頃をこう振り返る。トヨタ自動車に脈々と受け継がれているのが、「現地現物」の精神だ。現場で実物を見ることで物事の本質を見極め、素早く決断し、全力で実行することを指す。
2. 豊田章男社長が多くを学んだのが、入社 7 年目に配属された生産調査部だ。いわゆる「トヨタ生産方式 (TPS)」の社内外への指導する部署である。ここで豊田社長は、後に技術者の最高位とされる技監に就く、林南人氏 (現顧問) の直属の部下として、トヨタの現場に根付く思想をたたき込まれた。
3. その林氏が師事したのが、大野耐一・元副社長。TPSの生みの親だ。必要なものを、必要なときに、必要なだけ供給するという「ジャスト・イン・タイム」の基本形を作り上げ、モノづくりの精神の礎を築いた。TPSの根底に流れるものは「徹底したムダの排除」という思想だ。在庫、作業、不良など、あらゆるものがムダとなりうる。ムダがムダを生んで積み重ねれば、経営そのものを圧迫する。
4. 今のトヨタの高収益は、終わりのない現場の「カイゼン」に裏打ちされている。人から人へ、世代を超えて、TPSが現場の営みを通して伝えられている。

(参考:「週刊東洋経済」2016年4月9日号)

経営者のための社会学

神戸市と京都市を抜いた福岡市

1. 2015 年国勢調査速報値で、人口増加数・増加率共に政令指定都市の中でナンバーワンになった福岡市。人口は 5 年前の前回調査より 7 万 4767 人増えて 153 万 8510 人となり、京都市と神戸市を抜いて第 5 位に躍り出た。その理由の一つに、東日本大震災に加え、福島第 1 原子力発電所の事故が発生したことにより、東京はじめ関東圏から福岡市に避難した人が相次ぎ、その後、気に入ってくれて、移り住んだ人が多かったからだ。
2. さらに、九州他県からの転入者も増加を続けている。その結果、九州 7 県の中で、唯一、人口増となった。特徴的なのは、若い世代が増えていること。世代別で見ると、15~19 歳、20~24 歳が飛び抜けている。大学や専門学校への進学と、就職のタイミングで流入していると考えられる。福岡市は、進学先、就職先共に多いことが要因として挙げられる。その他、住みやすい (コンパクトシティ、通勤・通学時間が短い等) 街でもある。

(参考:「週刊ダイヤモンド」:2016年3月26日号)

新規成長分野

学生と企業を結ぶカフェ (エンリッショ)

1. 有名大学前に続々出店。無料で就職活動にも役立つと大学生の話題を集める「知るカフェ」。今年 4 月にはインド工科大学の構内にも出店。海外展開を加速する。大学キャンパスを出て徒歩数分、学生証を出せば、飲み物は無料。スマートフォンも充電できるし、無線 LAN は使い放題。そんなカフェで今、有名大学学生の人気を集めている。
2. 「知るカフェ」(運営会社エンリッショ) は、2013 年 12 月に同志社大学の前に 1 号店をオープンしたのを皮切りに、わずか 2 年強で東京大学、早稲田大学、慶応義塾大学、京都大学、名古屋大学など、全国 11 大学のキャンパス周辺に店舗を展開した。来店する学生数は、全店合計で 1 日当たり 2500 人以上に上る。無料でも採算が取れるのは、企業からスポンサー料を得ているからだ。料金は 1 社当たり年間 120 万円。三井物産、ユニクロ、三井住友銀行、東京ガス、大手ベンチャーまで店舗ごとに十数社を連ねる。

(参考:「日経ビジネス」2016年4月4日号)

古典に学ぶ

武士道の本質的原理

(解説) こうして、その源流が何であれ、武士道がそこから吸収して自らに同化した本質的原理は、数も少なく、単純なものであった。それらの原理は少数で単純ではあったけれども、日本国民史の最も不安定な時代の最も不安な日々にあってさえ、まちがいのない人生の処し方を与えるには十分だった。

(参考:佐藤全弘訳新渡戸稲造著「武士道」:教文館)